



【断熱材比較実験ボックス】

今回の試験では、ファース専用断熱材「エアクララ」と100倍発泡ウレタンフォーム、グラスウール24Kを用意して断熱性能の比較試験を行った。試験方法は、8㎡のサイコロ状実験ボックスの6面全部に、各断熱材を均等で正確に施工し、BOX内に100Wの電球を発熱させ温度変化を測定した。

上記グラフは、氷点下になる外気温に対し、電球の発熱でボックス内の気温が高い(熱が逃げない)方が断熱性能が良いと判断される。

最も外気温の下がった1月13日午前6時前後(マイナス17.4℃)で比較すると【エアクララ】6.0℃、【100倍発泡ウレタンフォーム】マイナス1.5℃、【グラスウール24k】マイナス3.3℃となっている。

グラスウール24Kを基準に比較すると、断熱性能の関係は以下の通りとなる。

【断熱性能(高)】

- ▼ 『エアクララ』
- ▼ 『100倍発泡ウレタンフォーム』
- ▼ 『グラスウール24K』

【断熱性能(低)】